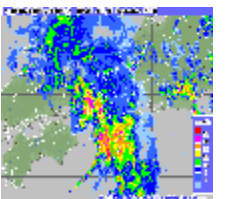


# 「逃げる」施策

## 情報提供の取組み

NHKではデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。

**【気象庁】**  
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>  
 気象庁では気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。  
 (出典：気象庁ホームページより)



**【国土交通省 防災情報提供センター】**  
<http://www.mlit.go.jp/saigai/hosajoho/>  
**<携帯サイト>**  
<http://www.mlit.go.jp/saigai/hosajoho/i-index.html>  
**【国土交通省 XバンドMPLレーダー雨量情報】**  
<http://www.river.go.jp/sbandradar/index.html>



**【おおくさ防災ネット】**  
<http://www.cds.osaka-housai.net/pref/index.html>

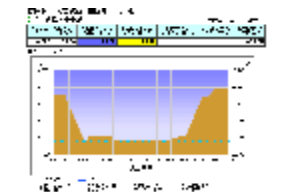
緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。



**【津波想定区域図】**  
<http://www.river.pref.osaka.jp/>  
 想定される津波の浸水範囲、浸水深を確認できます。



**【大阪府都市整備部河川室河川防災情報】**  
[http://www.osaka-kasen-portal.net/subou/kouzuiyosoku/index\\_kouzuitm](http://www.osaka-kasen-portal.net/subou/kouzuiyosoku/index_kouzuitm)  
 流域の雨量、流域内主要河川の水位状況などを確認できます。



**【おおくさ防災ネット】**  
<http://www.cds.osaka-housai.net/pref/index.html>

緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。



# 西大阪ブロック 河川整備計画(変更原案) <概要版>

平成27年2月5日(木)  
 平成26年度 第8回  
 大阪府河川整備審議会

参考資料2

**<対象河川>**

河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	指定区間延長 (km)
旧淀川 (大川・堂島川・安治川)	288.0	13.830
土佐堀川		2.450
木津川		8.800
尻無川		4.100
東横堀川		2.175
道頓堀川		2.745
住吉川		3.050
正蓮寺川	10.8	4.600
六軒家川	298.8	1.450
合計		43.200



防災情報を携帯電話で入手できます。  
 下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

**川の防災情報**  **大阪府河川情報**  **防災情報メール** 

頻繁の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。  
<http://river.go.jp/>  
 直接アクセスしてください。

最近の河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。  
[http://www.cds.osaka-housai.net/subou/kouzuiyosoku/index\\_kouzuitm](http://www.cds.osaka-housai.net/subou/kouzuiyosoku/index_kouzuitm)  
 直接アクセスしてください。

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。  
[tsunagi@cds.osaka-housai.net](mailto:tsunagi@cds.osaka-housai.net)  
 直接アクセスしてください。

## 西大阪ブロック河川整備計画(変更原案)の詳しい内容について知りたい方は

(1)以下のホームページに掲載しています。  
 ・大阪府都市整備部河川室 (アドレス [http://www.pref.osaka.lg.jp/s\\_kasen/](http://www.pref.osaka.lg.jp/s_kasen/))

(2)以下の場所に資料を備えています。  
 ・大阪府政情報センター(大阪府庁本館1階)  
 ・大阪府都市整備部河川室(大阪府庁別館4階)  
 ・大阪府西大阪治水事務所(大阪府津波・高潮ステーション2階)  
 ・大阪市建設局(ATCビル)

インターネットで「大阪府 西大阪 意見募集」と入力検索してください。

**大阪府 西大阪 意見募集** **検索** **クリック!!**

閲覧と意見募集期間は、  
**1月15日(木)から1月29日(木)まで**

## ご意見はこちらまで

**<郵送の場合>**  
 〒550-0006  
 大阪府大阪市西区江之子島2丁目1-64 大阪府津波・高潮ステーション内  
 大阪府西大阪治水事務所 企画防災グループ あて

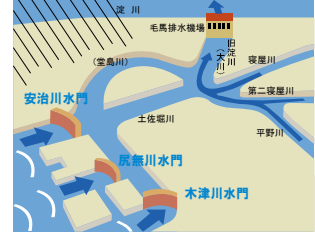
**<FAXの場合>**  
 FAX 06-6541-9477 大阪府西大阪治水事務所 企画防災グループ あて

**<電子メールの場合>**  
 メールアドレス [nishiosakachisui-g05@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:nishiosakachisui-g05@sbox.pref.osaka.lg.jp) 大阪府西大阪治水事務所 企画防災グループ あて

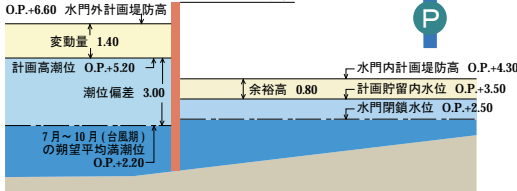
いただいたご意見を踏まえ河川整備計画の対応方針の検討を進めてまいります。

## 高潮、洪水、耐震対策の現状

**【高潮対策】**  
 ジェーン台風(昭和25年)を契機に抜本的な総合高潮対策を実施しました。  
 その後地下水の汲み上げによる地盤沈下により、防潮施設が沈下したため、昭和34年度から防潮施設を元の高さまで嵩上げる事業に着手、昭和36年に第2室戸台風による甚大な高潮被害を受けたため、「緊急3カ年計画」を立て、昭和39年度までに概ねの高さの復元を完了しました。  
 台風の中で強さ及び規模において最大の伊勢湾台風級の台風が、大阪湾奥部にとって最悪となる室戸台風のコースを通って満潮時に襲った場合を計画目標とした「大阪高潮対策恒久計画」を策定し、防潮堤、防潮水門、排水施設などの整備を進め、昭和56年に毛馬排水機場が完成し、全区間で高潮に対する防潮施設整備は完了しています。  
 鉄扉の電動化や、遠隔監視化を実施しています。



**【洪水対策】**  
 旧淀川筋では、計画高水流量(戦後最大 八尾実績降雨昭和32年6月 時間62.9mm、24時間311.2mm)を流すことができます。



**【津波・耐震対策】**  
 昭和52年より耐震対策事業に着手し、阪神・淡路大震災を契機に耐震性を再評価したうえで耐震補強を進めてきました。河川改良工事全体計画書(平成8年3月)に基づき、防潮堤の耐震補強を実施しています。対策の実施にあたっては、平成21年3月に策定した「大阪府都市整備部地震防災アクションプログラム」にて、平成19年度から平成29年度までの10か年で優先的に実施すべき箇所を位置付け、上町断層等の直下型地震や近い将来に発生が予測されている東南海・南海地震等の海溝型地震に対応した整備を行っています。  
 東日本大震災を踏まえ、津波来襲時には防潮水門を閉鎖します。これに伴い、水門操作の信頼性向上のため、遠隔操作化等を実施しています。  
 また、南海トラフ巨大地震で想定される地震・津波による河川構造物の照査を実施しており、防潮堤については、対策箇所の重点化、優先順位付けを行っています。

## 河川整備計画の目標

- 高潮対策** ⇒ 現状レベルの維持。
- 地震・津波対策** ⇒ L1(レベル1)地震動に対して堤防、水門、排水機場等の全ての河川管理施設が健全性を損なわないこと。  
L2(レベル2)地震動【内陸直下型及び海溝型】に対して堤防については、地震後においても、L1(レベル1)津波高以上の高さを確保する。水門、排水機場については、閉閉及び排水の機能を保持すること。
- ※L1(レベル1)地震動：構造物の供用期間中に発生する確率が高い地震動。  
※L2(レベル2)地震動：対象地点において現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動。そのうち海溝型については南海トラフ巨大地震と定義されている。  
※L1(レベル1)津波：数十年から百数十年に一度程度に到達すると想定される津波。
- 洪水対策** ⇒ 現況レベルの維持。
- 河川空間の活用** ⇒ 平成23年4月の河川敷地占用許可準則の緩和に伴い、地域が要望し行政が手続きを行ったエリアにおいて、民間事業者が占有者となって河川区域内で事業計画を立案、施設整備することが可能となった。  
民間事業者等のニーズに応じ、官民が協議のうえ事業エリアの設定を行い、両者の適正な役割分担の下に必要な整備を実施する。
- ・民間事業者等：利活用事業の主体としてエリアの選定を含む計画の提案を行い、利活用及び景観に係る施設整備を実施。
  - ・大阪府、大阪市：民間事業者等と協議のうえ事業エリアを選定し、利活用事業と整合のとれた基盤整備を実施。
- 上記のスキームにより、遊歩道の整備や舟運の活性化等を図るなど、水辺の賑わい創出に協力する。
- 流水の正常な機能の維持** ⇒ 寝屋川からの流入水に比較して水質の良い淀川からの導水は、対象河川の水質改善や動植物の生息・生育環境の創出に寄与しており、今後もより効果的な導水の運用に努める。
- 水量・水質** ⇒ 上流域の寝屋川流域で策定されている「寝屋川流域水環境改善計画(H24.5)」の取り組みとも連携しながら、水質環境基準の達成・維持に努め、さらなる水質の向上を目指す。  
ダイオキシン類の環境基準値を上回る底質の浄化対策については、「大阪府河川及び港湾の底質浄化審議会」での審議に基づいて検討を行い、安全な水辺環境の創出を目指す。
- 自然環境** ⇒ 大川の「大阪ふれあいの水辺」における貯木跡地など、ブロック内において比較的豊かな自然環境が残る空間については、住民との協働によって、それらの持つ自然環境機能の保全、向上を目指す。
- 維持管理** ⇒ 河川の特性や施設の劣化状況を踏まえつつ、計画的な維持管理を行い、災害の発生を未然に防ぐ。

## 河川整備の実施

### 地震・津波対策

#### 防潮堤の地震・津波対策

旧淀川(安治川)、木津川、尻無川、正蓮寺川、六軒家川、東横堀川、道頓堀川、住吉川では、南海トラフ巨大地震対策として防潮堤の耐震補強を行います。

#### 水門・排水機場等の地震・津波対策

安治川、尻無川、木津川、住吉川、正蓮寺川、道頓堀川、東横堀川では、南海トラフ巨大地震対策として、各水門の耐震補強を行います。  
また、迅速かつ確実な操作を可能にするため、水門遠隔操作の伝送路二重化及び堰柱補強や鉄扉の電動化を進めます。

河川名及び施工場所	整備対象区間	事業内容	整備主体	対象区間整備延長(片岸延長)
淀川	安治川水門	水門耐震補強	大阪府	—
	全川	防潮堤耐震補強	〃	約1.7km
木津川	木津川水門	水門耐震補強	〃	—
	全川	防潮堤耐震補強	〃	約4.6km
尻無川	尻無川水門	水門耐震補強	〃	—
	全川	防潮堤耐震補強	〃	約1.7km
正蓮寺川	正蓮寺川水門	水門耐震補強	〃	—
	正蓮寺川水門から下流	防潮堤耐震補強	〃	約1.1m
六軒家川	全川	防潮堤耐震補強	〃	約2.7km
東横堀川	全川	防潮堤・水門耐震補強	大阪市	約4.4km
道頓堀川	道頓堀川水門から藤町日本橋から上大和橋	防潮堤・水門耐震補強	〃	約3.4km
住吉川	住吉川水門付近から下流	防潮堤・水門耐震補強	〃	約2.9km
各河川の水門、鉄扉	—	電動化、伝送路二重化	大阪府	—
三大水門(安治川、木津川、尻無川)	—	副水門・中央堰柱補強	〃	—

※本表については、今後、さらに詳細な評価検討を踏まえ対策延長が変わる可能性があります。

### 計画対象区間



## 河川空間の利活用

### 西大阪ブロックの水都事業

水辺拠点としての船着場整備、水辺の環境整備、護岸緑化などの整備の実施にあたっては、水の回廊とその周辺部に広がる水辺拠点を対象に「水と光のまちづくり推進会議」で決められた内容に基づき、地元住民や関係機関との連携を図りながら、整備を進めます。  
スーパー堤防及びこれに伴う環境整備は、沿川地域の再開発等と調整が図れた箇所について実施します。

### 正蓮寺川総合整備事業

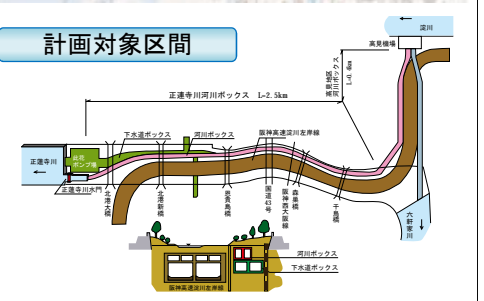
正蓮寺川では、大阪府、大阪市、民間の三者が連携し、正蓮寺川等総合整備事業を進めており、河道内に阪神高速道路淀川左岸線が整備されるとともに、旧河川、下水道が暗渠化されることで、治水、利水など現在の河川が持つ機能を確保します。これに伴い、正蓮寺川水門から嬉ヶ崎橋上流までの河川空間は陸地化され、陸地化された空間では大阪市の公園整備などが行われます。

河川名及び施行場所	実施区間	事業内容	整備主体
ブロック内全河川	全川	・遊歩道整備、船着場整備、護岸緑化等 ・スーパー堤防整備 ・ダイオキシン類等底質浄化対策	大阪府及び大阪市(各河川管理者)
正蓮寺川	正蓮寺川水門～嬉ヶ崎橋上流	・公園整備 ・下水処理場ポンプ場	大阪市(公園・下水道管理者)

## 計画対象区間



### 計画対象区間



## 河川の維持管理

### 河川管理施設

⇒ 構造物の損傷、劣化状況の把握に努め、人命を守ることを最優先に、地先の危険度などを考慮し、優先順位を定めて、危険度の高い箇所から計画的に補修を行い、それらの点検結果を公表します。  
河川カルテを作成するとともに維持管理計画を策定して、計画的かつ効率的な維持管理を行います。  
大阪府管理の水門については、出水期については月2回、非出水期については月1回の定期試運転を実施しているほか、他の河川管理施設においても、定期的な点検を実施しています。

### 許可工作物

⇒ 堰や橋梁等、河川管理者以外の者が管理を行う許可工作物については、施設管理者に対して許可工作物を良好な状態に保つように、河川管理施設と同等の点検及び維持、修繕の実施を指導するなど、河川の治水機能を低下させないよう適正な維持管理に努めます。

### 河川空間

⇒ 定期的に河川巡視を行うとともに、大阪市と連携した河川巡視の実施や、地域住民、ボランティア団体、自治体等と協働で定期的な美化活動等を行うことにより、地域住民等の美化意識向上に努め、きれいな河川空間の維持に努めます。  
舟運などの水面利用に配慮し、接触事故防止のため、注意を喚起する表示板やブイの設置などに努めるとともに、プレジャーボートなどに対しては、航行ルールの啓発に努めます。

## 地域や関係機関との連携

### 防災活動

⇒ 水門や防潮鉄扉等の施設操作については、日頃からその重要性についての認識が深まるよう啓発に努めるとともに、非常時に迅速な対応ができるよう訓練を実施し、施設操作の習熟と連携強化に努めます。  
大阪市の関係部局、各区役所、警察などと災害時の現場レベルでの連携体制、情報伝達方法について検討を行い、迅速かつ的確な水防活動が行えるよう努めます。

### 水都大阪

⇒ 平成23年8月に策定された「水都大阪 水と光のまちづくり構想」に基づき、世界に誇る水都大阪ブランドの確立を目指し、住民、NPO法人、企業、経済界及び行政が一体となって様々な取り組みを行っています。  
「とんぼりパーウォーク」、「北浜テラス(大阪川床)」、「中之島バンク」などの水辺拠点施設を活用し、民間活力による賑わいの創出を行うため、様々な取り組みに協力している。  
「水の都・大阪」の魅力を広く伝えるためのシンボルイベントなど、水の都再生の核となる魅力ある水辺創出や、府市連携した水上交通の活性化や航行ルールの策定を行う。

## 河川情報の提供

### 防災情報

⇒ ハザードマップ等の周知や啓発に取り組み、市民の防災意識の醸成に努めます。  
市民に対する防災情報の提供に加え、市民以外の在勤者や観光客、外国人にも分かりやすい防災情報・避難情報が提供できるように様々な手法を検討し、実施します。

### 河川情報

⇒ 船舶等水面利用者への航行安全の支援とともに、河川利用等の促進を図るために設置した河川情報表示盤により、河川水位等の河川情報、河川環境の紹介や治水・災害関連施設の紹介などの河川関連情報を定期的に提供します。

### 学習・啓発

⇒ 防災啓発活動の一環として、津波・高潮ステーションでは、過去の津波・高潮災害に関する資料や防潮鉄扉模型、南海トラフ巨大地震に伴う浸水想定図の展示など、防災啓発に関する資料展示を行い、また津波災害体感シアター(ダイナキューブ)による津波の疑似体験施設も併設しています。現在では、府民や防災活動組織の担当者のみならず、国内外から施設見学に来られるなど、啓発施設として広く活用されており、今後ともより周知に努め、津波・高潮に関する府民の防災意識の向上や、国内外への大阪府での取り組みの紹介や研修などを目的に、利活用を進めます。